

A

柄付きリノリウム



B

三笠食器



ポット



C

建設初期頃の外観



外壁板



付柱



D

客室No.11



客室No.10



客室No.9



E

サンルームと廊下の壁



事業概要

事業名：重要文化財旧三笠ホテル建造物保存修理事業

名称：重要文化財（建造物）旧三笠ホテル

建築年：明治38年（1905年）

指定年：昭和55年（1980年）

所在地：長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢1339-342

事業期間：R元年6月3日～R7年3月予定

工事期間

第1期工事：R2年1月10日～R4年3月25日

第2期工事：R4年3月16日～R6年12月25日予定

事業者：軽井沢町

設計監理：公益財団法人文化財建造物保存技術協会

施工：第1期工事 清水建設株式会社

：第2期工事 清水建設株式会社



軽井沢町教育委員 生涯学習課文化振興係

Tel.0267-45-8695 / Fax.0267-46-1152



※本事業は国（文化庁）及び長野県の補助金を受けて実施しています。

旧三笠ホテル建造物 保存修理だより

Vol.2

令和4年3月発行



工事ではっけん！

A. トイレ床リノリウム

床タイルの下にボタニカル柄のリノリウムがありました。当初は今とは雰囲気が異なり、華やかなトイレだったようです。

B. 食器の破片

建物北側の地面から食器の破片がたくさん出てきました。左の写真は三笠マークが入ったカップ、写真右はノリタケ製のポットです。他にも三笠マークが入った平皿の破片もあったため、三笠ホテルの食器セットがあったと思われます。

C. 外部塗装

建設初期頃の外観写真を見ると全体に薄い色をしています。塗装調査で、外壁板からは薄灰色、窓枠などからは濃灰色の塗膜が発見されました。今とは全く異なる外観だったようです。

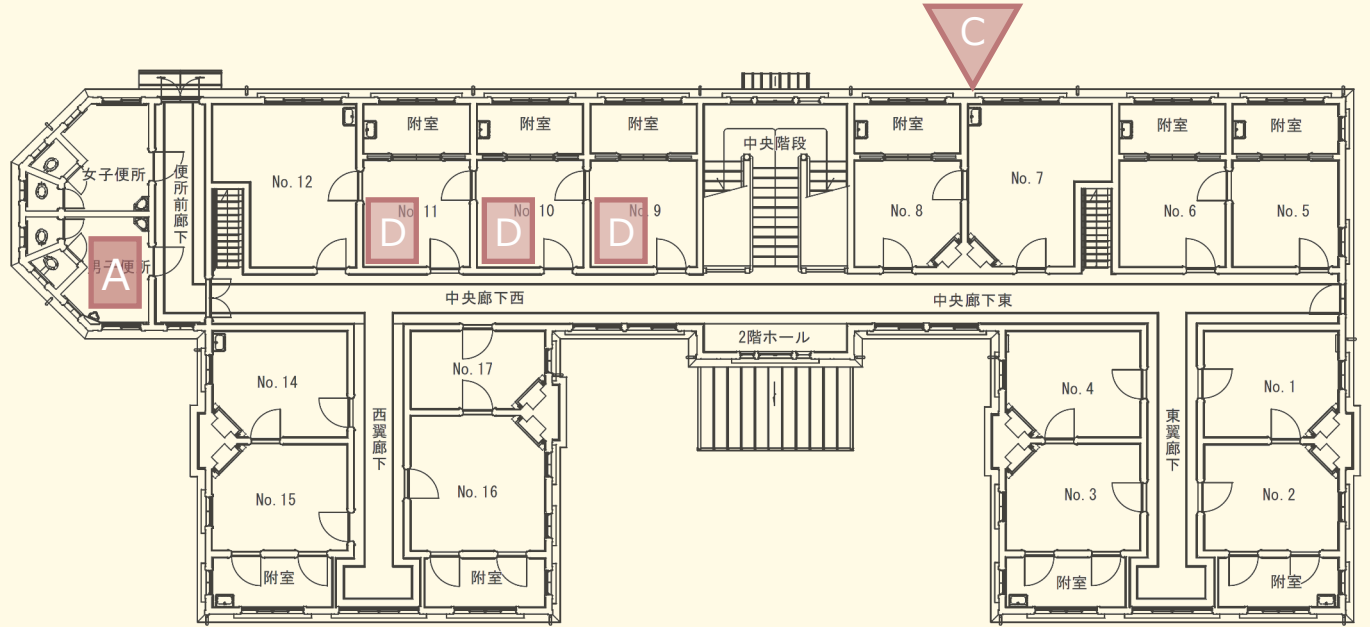
D. 客室の壁色

客室の漆喰壁の下から塗装された漆喰が出てきました。色は客室ごとに違い、浅黄色、桜色、青藤色等が確認されました。

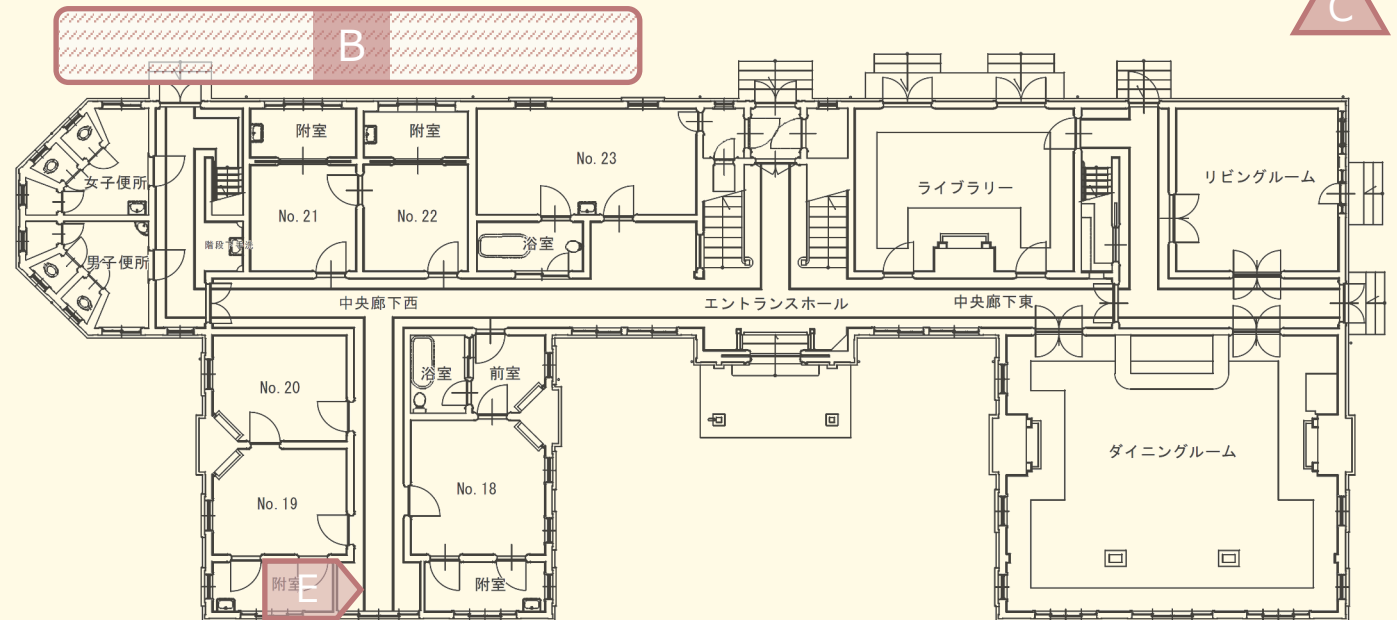
E. 附室の壁

客室No.19附室の壁を解体したところ、床板が廊下まで繋がっていました。どうやら1・2階の南側附室は廊下として繋がっていたようです。

工事中は旧三笠ホテルからさまざまな発見がありました。今回はその一部を紹介します。



2階平面図



1階平面図